

理不尽な報告の強要はやめろ！ 管理者が取り囲み1時間40分もの尋問は犯罪だ！

12月22日、東京第一運輸所において、新幹線の乗務を無事終えた組員が勤務終了の点呼を受けた際、管理者から添乗指導内容を乗務報告書に記載するよう指示されました。組員は、指導内容は報告義務はなく指導事項は手帳に記載してあるとして記載を拒否しました。

すると突然、3名の管理者が組員を取り囲み「点呼を中断」して、透明の亚克力板で囲まれた「お仕置き机」に座らせ、1時間40分に渡って乗務報告書への記載を強要したのです。複数の管理者が取り囲み威圧する中で、記載する理由を説明するのではなく「管理者の指示に従え」と全く理不尽な報告の強要を行ったのです。組員は、管理者による取り囲みをやめるよう、また家庭で用事があるため早く終わりにするよう再三要請しましたが、管理者は全く聞入れることなく、組員の私生活は無視した人権無視の尋問が長時間行われたのです。まさしく管理者による企業権力を傘に着た犯罪です。

私たちは、「命令と服従」の強権的な社員管理による理不尽な報告の強要を断じて認めることはできません。JR西日本の福知山線事故を全く教訓化しない異常な社員管理を許さず、新幹線の安全を守っていくために職場から奮闘していきましょう。

社員の人権を無視した
「命令と服従」の強権的な社員管理反対！